

平成28年10月21日
市立伊丹高等学校
校長 森井 裕史

保護者様

探究・キャリア講演会のご案内

爽秋の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育のために何かとご協力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、本校では総合的な学習の時間におきまして、探究学習活動を実施し生徒たちの学習の一層の深まりや、卒業後の自分の進路を考えるキャリア教育を推進しております。また今年度から1年生は、卒業時に論文や課題を発表することを目標に探究学習に取り組んでいるため、多様な分野のテーマ学習や講演会を計画的に実施しております。

このたび下記の通り講演会を開催いたします。ご参加いただける方は、下記申込用紙にご記入後、担任までご提出くださいますよう、お願い申し上げます。

記

1 日 時 平成28年11月17日（木）7時間目 15：15～16：05

2 会 場 本校体育館2Fフロア

3 講 師 宇宙航空研究開発機構（JAXA） 並木 道義 氏

演 題 「小惑星探査機はやぶさに学ぶ」～未来を切り拓く力を～

（「はやぶさ」の往復、オーストラリアでのカプセルの回収、「はやぶさ2」のスイングバイと金星探査機再挑戦などについてご講演いただきます）

講師紹介：電子工学専門、1978年から東京大学宇宙科学研究所気球工学に所属し、科学観測気球実験に携わる。その後オーストラリア、中国、ブラジル等で気球実験のため渡航。これまでに科学観測気球およそ400機を打ち上げた。また、第34次日本南極観測隊夏隊（1992年）、第44次日本南極観測隊夏隊（2002年）、第45次日本南極観測隊夏隊（2003年）と3回にわたり南極において科学観測気球実験の飛翔を指揮した。また、アフリカ（モーリタニア）で「はやぶさ」カプセル回収のためにサハラ砂漠で回収実験を行う（2001、2002年）。宇宙航空研究開発機構・主管開発員を定年退官（2006年）、科学観測気球実験での回収技術を駆使し、「はやぶさ」帰還による回収部隊としておよそ1ヶ月にわたり、オーストラリア・ウーメラ地区で電波方位探索班を指揮、着地場所の特定を行う（2010年）。現在、JAXA宇宙科学研究所広報・普及係、宇宙教育センター 非常勤講師として在任。

執筆書籍：「南極気球ものがたり」2011年9月東京図書出版発行、「絵でわかる宇宙開発の技術」2013年10月初版（株）講談社

以上

----- キ リ ト リ -----

平成28年11月17日(木)の探究・キャリア講演会に参加します。

()年()組 お名前()

締切：11月11日（金） 担任⇒創造事業部まで
